

授業改善等に関する報告書（2019年度前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（前期）現代生活学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
調理学及び実習	佐藤 幸子	少人数の授業のため、一人ひとりとのコミュニケーションがとれていたと感じています。今後も教職採用試験のためのバックアップをしていきたいと思います。質問等は調理学第二研究室を訪ねてください。
自立生活論 a（健康）	須賀 由紀子	本授業を通して得たライフスタイルへの視点を、ぜひ実践に結びつけていただけるとよいと思います。
メディア生活経営論演習 b	行実 洋一	アンケート結果がないため、特段コメントはありません。
環境科学概論	菅野 元行	履修生77名中49名の方々に回答していただき（回答率64%）、総合的な満足度が4.33（5.00が最高点）となり、全体平均値よりも高い評価が得られました。しかし、昨年度に比べて回答者数（昨年度59名）、回答率（昨年度68%）ともに低下しましたが、総合的に満足度は昨年度の4.32よりも微増しました。 自由記述欄にも多くの方に記載していただき、回答していただいた方々に御礼申し上げます。自由記述からいくつか掲載します。「基礎的なことから丁寧に指導していただき興味味が沸き、理解が深まりました」「授業を前半、中盤、後半で分けてくださったので集中力を保って授業に取り組みました」「課題が毎回あったことで、一つ一つ確実に復習することができました」「一番最初に行われたテストでは全くわからなかった内容を、前期の授業で理解することが出来た」「授業を受けて、環境について興味を持ち始めました。深く学習したいと思いました」「課題になっているレポートを作成することでより理解が深まってよかった。知らなかった身近な現象など学ぶことが出来た」「資料など随時配布していただいたのでとてもわかりやすかった」「オーロラなどの授業がとても面白かったです」 その他のコメントもすべて拝見しました。ありがとうございました。 今後も分かりやすい授業を心がけます。
生活産業創出論	須賀 由紀子	授業で得た視点をもとに、身の周りの様々な新しい商品やサービスに目を向けて、その中に込められている意図を読み解く姿勢を続けていただけるとよいかと思えます。
現代社会を読み解く a（政治と経済）	岡田 美香	皆さんのコメントから判断して、環境問題に関する理解が深まったようで良かったです。小グループになり、お互いのレポートを発表し合うというのは、初めての試みでしたが、皆さんが積極的に互いに質問してくれたお陰で、充実した授業にすることができました。今後も、皆さんが理解しやすく、参加しやすい授業を目指していきたいと思えます。
環境経済学	野津 喬	授業に対する総合評価が4.52であり、自由コメントにも「環境と経済とのかわりが理解できた」、「環境について様々な視点で考えられるようになった」等の趣旨のコメントがあったことから、授業目標は達成できたものと考えている。来年度も基本的な授業方針は継続していきたい。
地域エネルギー論演習	菅野 元行	履修生は11名おられましたが、どなたからも回答いただけず残念に思います。
メディア社会概論	行実 洋一	授業満足度が4.67と高かった一方で、自己評価度が3.91と低かったことから、総合的に授業内容に満足してもらっている一方で、自らの達成・成長に実感が持てない様子が伺われる。1年次入門の講義形式の授業である点からやむをえない面もあるが、もう少し双方向的な要素を取り入れて、学生に達成感を与えるような工夫をしてみたい。
女性社会論 a	須賀 由紀子	女性としての豊かな生き方を考えるヒントになれば幸いです。
家庭経営 a（食生活）	白尾 美佳	現代生活学科の学生の皆さんは食生活に関する授業はあまりないかと思えます。少し、スピードがはやいところもあったかもしれませんが、今後どのようにしたら有意義な授業がおこなえるか考えていきたいと思えます。

[2019（前期）現代生活学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
環境の化学と工学	菅野 元行	履修生72名中10名の回答に留まり（回答率14%）、過去5年間を見渡しても低い回答率になり残念に思います（昨年は履修生17名中5名が回答し回答率29%）。総合的な満足度が4.00（5.00が最高点）となり昨年の5.00から大幅に減少してしまいました。しかしながら、昨年度の内容に加えて、ほぼ毎回に関連する新聞記事のプリントを配布して、実際の問題点と絡めて説明する工夫を行ったにも関わらず、このように評価が減少してしまい、とても残念に思います。 一方、自由記述欄にも記載していただいた方々に御礼申し上げます。その全てを掲載します。「専門分野を学べる機会がなかったので良い機会になりました。」「プラスチックのリサイクルについての理解が深まった。」以上のお二方には御礼申し上げます。 しかしながら、「生物の多様性や魚道の話の聞いたのが楽しかった」というように、違う科目の内容を記載された方もおられました。 この科目は理科的内容が濃いためか、例年10～20名程度の履修生でしたが、今年度は履修生が72名となり驚きました。しかし、回答率の少なさを考えますと、授業内容とは別の理由で履修した方々が多いように感じ、重ねて残念に思います。
広告とメディア	行実 洋一	各種評価項目の中で、双方向性授業の項目が3.78と低い数字となった。広告業界に関するかなり高度・専門的な内容を取り扱っている面からやむをえない面もあるが、もう少し双方向的な要素を取り入れるなどして、学生の評価が高まるような工夫をしてみたい。
グレートブックスセミナー1	犬塚 潤一郎	授業のスピードや内容、配布物については、授業の基準から見れば相応の結果だと思えます。一方、哲学を学ぶこと自体はそう容易ではないにしても、理解できないところがあったという割合は問題だと考えています。予習復習時間が極めて少ない割合の高さとの関連もあると思います。自習課題についての工夫をしたいと思えます。
グレートブックスセミナー1	須賀 由紀子	この授業で得たことを、今後の礎にしていいただければ幸いです。
地域食料論	野津 喬	授業に対する総合評価が4.63であり、自由コメントにも「フードチェーンの各段階の課題について理解が深まった」、「食について理解や関心が深まった」、「グループワークなどを通じて人に意見を伝える力が身についた」等の趣旨のコメントがあったことから、授業目標は達成できたものと考えている。来年度も基本的な授業方針は継続していきたい。
グレートブックスセミナー1	須賀 由紀子	この授業で得たことを今後の礎にしていいただければ幸いです。
メディアコミュニケーション a	行実 洋一	各種評価項目の中で、学生個々の成長の実感が3.93、自己評価が3.8と低い数字となった。マスメディアに関するかなり高度・専門的な内容を取り扱っている面からやむをえない面もあるが、もう少し学生にも自己達成感がわくような工夫をしてみたい。
メディア生活経営論 a	犬塚 潤一郎	メディアビジネスの最前線を取り上げているにしても、時々理解できないなど、わかりにくいと感じた層が20%前後あることは問題だと判断しています。まずここは常識、と判断してしまっている概念・用語などについて、今一度理解を確認しながら進めるように改善したいと思えます。
ゼミナール	須賀 由紀子	引き続き、いろいろな経験を積みながら、地域と暮らしへの視野を拡げていければと思っています。
ゼミナール	行実 洋一	全体的に高い評価となったので、今後も現在の方向を維持していきたい。
ゼミナール	高橋 徹	理解度などはポジティブな回答も多いが、全体的に欠席が多く予習復習時間もかなり短い。実際にレポートの提出状況は遅延も含めてかなり悪い状態です。これは授業の意義を理解されず、学生にとってこの授業は自分にとって有益なものだと思ってもらえていないことが原因だと考えられます。この点についての説明を充実させる他、学生が意欲的に取り組みたいような工夫を行っていきます。
ライフ・プランニング	犬塚 潤一郎	時々理解できないことがあったという回答の割合を、反省しています。特に、高校教科書で取り上げられていたり、マスコミ報道なども通じて既知であると判断してしまっている概念・用語について、不接触の方の割合が優位に増えていることを認識し、予備解説をより十全にしたいと考えています。

[2019（前期）現代生活学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
現代社会を読み解く b（生活と産業）	野津 喬	授業に対する総合評価が4.59であり、自由コメントにも「仕事と生活の関係について深く学ぶことができ、新たな視点を得られた」、「日本の産業や社会、企業の仕組みが理解できた」、「就職活動に必要な知識が身についた」、「グループで話し合う力が身についた」、「小テストと授業前の振り返りが知識の確認になったので良かった」等の趣旨のコメントがあったことから、授業目標は達成できたものと考えている。来年度も基本的な授業方針は継続していきたい。 なお、1件だけではあるが「グループワークが苦手だったので少し困った」との趣旨のコメントがあった。本授業が、グループワークが複数回ある双方向型の講義であることはこれまでもシラバスに明記し、また第1回の講義でも明確に伝えているが、来年度の第1回の講義ではこの点をより念押しして伝えるようにしたい。また現在でも、グループワークが苦手な学生が取り組みやすいような工夫を取り入れてはいるが、引き続きブラッシュアップを心がけたい。
少子高齢化社会	須賀 由紀子	少子高齢化は真摯な課題です。それと向き合う姿勢を、今後の生き方にぜひ活かしてください。
エコビジネス演習	菅野 元行	履修生16名中1名の方がご回答され、3・4年生の履修科目としては寂しい回答率に留まりましたが、総合的な満足度が5.00（5.00が最高点）となりました。ご回答いただきありがとうございます。ご活躍をお祈りいたします。
環境思想 a	犬塚 潤一郎	毎回対話形式でテキストを読み進めてきましたので、授業内容は常に修正しつつ進めてきました。一方、アンケートを見ますと、予習復習時間が想定よりもだいぶ少ないこととなっています。この点については、もう少し厳しく指導すべきでしょうか、とも思いますが、より取り組みやすい参考文献の提示など含めて、工夫したいと思えます。
ビジネス特論 a（環境ビジネス）	菅野 元行	履修生33名中3名の回答に留まり（回答率9%）、過去5年間の回答率を見渡しても最低の回答率となり残念に思います（昨年は履修生56名中18名が回答し回答率32%）。総合的な満足度が4.33（5.00が最高点）（昨年は4.39）となり、全体平均値よりも高い評価が得られました。自由記述欄に記載していただいたお二人の方々に御礼申し上げます。その片方の自由記述を掲載します。「環境問題やそれに対する国際的な取り組み、それを行っている団体について学ぶことができた。」授業内容を的確にご理解いただき嬉しく思います。
グレートブックセミナー 2 a	犬塚 潤一郎	内容、スピード、わかりやすさについては、対面的な授業でしたので、想定した結果となっていますが、予習復習時間については想定よりもだいぶ足りないようです。確認・評価を厳しくする、というよりも、より学びやすい参考書の提示などを工夫したいと考えています。
フィールドリサーチ c（メディア）	高橋 徹	昨年度は全体的に授業が難しいという評価であったため、今年度は分かりやすくするように授業の進捗や説明方法を工夫しました。 結果として、今年度は理解度に関するアンケートすべてポジティブの回答となった。一方で、最高評価である「十分に理解できた」は10%程度にとどまった。これはまだ一部の単元において難しいところがあったためだと考えられる。この点については授業中にもたびたび個別に質問を受けて、その都度対応をして理解してもらったと思うが、最初からもっと分かりやすく説明ができていればより理解度が深まったと考えられるので、来年度はこの点をもっと重点的に教え、分かりやすい授業を心がける。 双方向性に対しても高い評価を付けられているが、これは授業ごとのアンケートに書かれたものに回答したり、机間巡回を心がけて学生から質問しやすいように心がけたためであると考えられる。この方法により、授業問題点などに気づきやすいので、今後も継続実施していく。
コミュニティ経済演習	野津 喬	授業に対する総合評価が5.00であり、自由コメントにも「プレゼンの技術が向上した」、「人前で話すことについて苦手意識を少なくすることができた」等の趣旨のコメントがあったことから、授業目標は達成できたものと考えている。来年度も基本的な授業方針は継続していきたい。
環境マーケティング論 a	犬塚 潤一郎	アンケート結果から問題があると判断されるのは、予習復習不足の割合です。取り組むべきことは明確に提示しているつもりですが、より具体的に課題設定することも必要でしょうか。あまりドリル的なにならない範囲で、明示を心がけたいと考えています。

[2019（前期）現代生活学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール	野津 喬	<p>授業に対する総合評価が5.00であり、自由コメントにも「プレゼンやグループワークなど相手に自分の考えを伝える機会が多く、とてもためになった」等の趣旨のコメントがあったことから、授業目標は達成できたものと考えている。来年度も基本的な授業方針は継続していきたい。</p> <p>なお、自由コメントには「必ず生徒を平等に見てくれます」とのコメントもあった。教員として心がけている事項ではあるが、今後も引き続き、学生にこのように思ってもらえるような授業運営を心がけたい。</p>
映像制作演習 b	犬塚 潤一郎	<p>回答者数が少ないので、結果から直接には何ともいえませんが、個別指導的に進めましたので、各々の成果には結びついたと思っています。技術講習でするので、想定に比べて、やり残したことが少なくないと、自身では不満に思っています。</p>